

## I. 日本作物学会紀事投稿規定

(2024年3月27日一部改正, 2024年5月26日から適用)

1. 本誌は作物に関する研究論文, 研究・技術ノート, 総説, 速報, 情報, 会員の広場, 意見, および書評を掲載する. 学術的な新知見に関するものとともに, 作物生産に直接関連した総合的・応用的論文も歓迎する. また各種の最新技術・先端情報について平易に解説した総説も歓迎する.
2. 筆頭著者および連絡責任者は本会の正会員でなければならない. ただし編集委員長が必要と認めたときは, 会員以外の寄稿を受けることができる.
3. 研究・技術ノートは例えば, 新品種の栽培法やその特性, 気象災害の実態やその解析など, 各地域で開発された技術や地域固有の問題に関する論文とする. 研究・技術ノートでは英文要旨を付けなくともよいが, 日本語と英語のキーワードは付けるものとする.
4. 研究論文と研究・技術ノートの原稿の長さは図表を含め原則として刷り上がり 10 ページ以内とする. 原稿の作成はⅢの原稿作成要領に従う. 速報についてはⅤの速報原稿作成要領に従う.
5. 総説はある研究項目について, その進展状況, 将来展望などを総合的にとりまとめたもので, 原則として刷り上がり 8 ページ以内とする.
6. 速報は, 速報性が重視される内容の論文で, 図表も含め刷り上がり 2 ページとする. 速報として受理された内容は本会講演会で発表することが望ましい.
7. 情報は, 新刊紹介, 内外の研究情報などで, 原則として刷り上がり 2 ページ以内とする.
8. 意見は, 論説, 質疑などで, 原則として刷り上がり 1 ページ以内とする.
9. 書評は, 本会会員にとって有用な新刊書籍を紹介するもので, 刷り上がり 1 ページ以内とする. 原稿の作成はⅢの原稿作成要領に準じ, 最近の掲載例にならう.
10. 原稿は本学会事務取扱所あて ([cssj-jim@cropscience.jp](mailto:cssj-jim@cropscience.jp)) に電子メールの添付ファイルとして送り状とともに送付する. 原稿のファイルの形式は, Ⅲの原稿作成要領中に記したものとする. 論文の採択決定後, 印刷用ファイルを電子メールの添付ファイルで本学会事務取扱所あてに送付する. その際の送付ファイルの形式はⅢの原稿作成要領中に記したものとする.
11. 著者負担費用は以下の通りとする.
  - (1) 掲載料: 研究論文, 研究・技術ノート, 総説, 情報, 意見, および書評のいずれについても無料. 速報は 11,000 円とする. なお, 依頼原稿に対する謝礼金はないものとする.
  - (2) 超過ページ料: 総説では刷り上がり 8 ページを超えた分, 研究論文と研究・技術ノートでは 4 ページを超えた分について, 1 ページにつき 16,500 円. 速報については刷り上がり最大 3 ページとし, 超過ページ (3 ページ目) につき 5,500 円.
  - (3) カラー・特殊印刷, トレースなど: カラー印刷 1 ページは無料 (2 ページ目からは 59,400 円/ページ) とする. それ以外は実費.
  - (4) ファイルが特殊な変換を要するものの場合: 実費.
  - (5) 別刷は有料とする.
12. 原稿および編集に関する問い合わせは日本作物学会紀事編集委員会宛とする.
13. 本誌は研究論文, 研究・技術ノート, 総説, および速報について著者に原著性を要求し, 掲載された論文等の著作権は日本作物学会に帰属するものとする.
14. 春と秋に開催される本会講演会における要旨は, 日本作物学会講演会要旨集として刊行する. 本講演会要旨集に掲載された要旨の著作権は日本作物学会に帰属する.